

暮

マダニって  
要注意  
らしいわね

らしいわ

大きなかさぶたと  
思って放っておいたら  
マダニだった  
なんて人もある  
らしいわよ

まあ、  
うっかりね

でも知らないと  
そうなるのよね

だから  
知っとかな  
くちや!

# 怖いのは、予期せぬ感染症 知って防ごう! マダニ対処法

マダニのニュースを耳にする昨今。  
最悪の場合、命に関わることもあるので、いざという時のために  
備えておきましょう。

【マダニの生息地】  
山や森、広い公園、市街地周辺の草むらなど

【マダニが活発になる時期】  
春から秋にかけて

## 狙われています!

マダニはそばを通りかかった動物に  
飛び移る機会を狙っています。  
というのも彼らの唯一の栄養源は動物  
の血液。吸血するときに、病原体  
を人間にうつすことがあります。

マダニが原因となる感染症(例)  
・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)  
・日本紅斑熱、ライム病など



これが  
マダニだ!

- ・固い外皮に覆われている
- ・体長約3~8mm、  
重さ3mgの小さい体

吸血すると...

約100倍の  
300mgに!



写真提供  
国立感染症研究所  
昆虫医学部



3~8mm  
※写真のマダニ  
は3mm



10~20mm

写真提供 国立感染症  
研究所昆虫医学部

## かまれないためには服装が重要!

- ポイント① 森林や草地で活動をする時は、肌の露出を避ける
- ポイント② シャツの裾はズボンに、ズボンの裾は靴下に入れてスキのない防御を
- ポイント③ マダニが付きにくい滑りやすい素材、マダニを発見しやすい白っぽい服がベター
- ポイント④ 帰宅時、車や家に入る前には衣服をはたく
- ポイント⑤ 帰宅後は早めに入浴してよく洗い、マダニがくっついていないかチェック
- ポイント⑥ 脱いだ服はすぐ洗濯!



※登山服

## もしもかまれてしまったら...

痛みやかゆみ=あまりない  
どうなる? 3~10日吸血し続ける



## 吸血中のマダニを見つけたら...

- ① マダニの体の一部が皮膚内に残る場合があるので、引っ張り取るのはNG!
- ② なるべく皮膚科で処置を。
- ③ かまれて6日~2週間後、発熱、発疹、下痢等の症状が出たら早急に病院へ。マダニにかまれたことも伝えて受診をしてください。

## 早めの発見が肝心です!

合言葉は...

- 野山に行くときは  
肌の露出はNG!
- かまれてもあわてて  
引っ張り取らずに、  
まず病院へ